

ケシ科 クサノオウ属

クサノオウ (草の黄)

Chelidonium majus L. subsp. *asiaticum* H.Hara

自生環境

道ばた、野原、林縁 など

原産地

日本在来

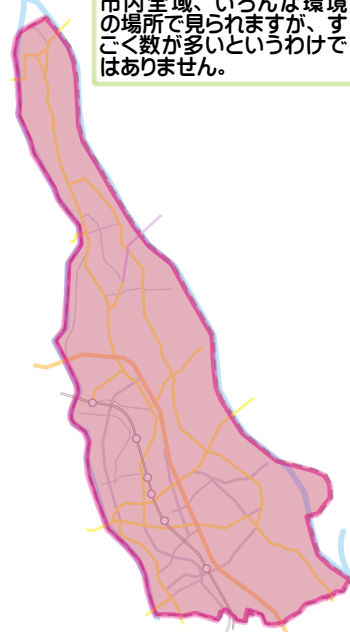
生育を脅かす要因



市内全域に見られますが、たくさんは生えていません。もし見つけても、あまり目の敵にせず、地域に咲く野の花として、やさしく見守る気持ちを大切にしたいところです。

市内の分布状況

市内全域、いろんな環境の場所で見られますが、すこく数が多いというわけではありません。



特徴

- ☆ 野原や林の縁、空き地、河川敷など、いろんな環境の場所に生える越年草です。しばしば群生しますが、どこにでも生えてはびこるというほどではありません。
- ☆ 春から夏にかけて、花びら 4 枚の黄色い花を次々咲かせます。果実は棒状で成熟すると割れて、小さなタネがいくつもこぼれ落ちます。タネにはアリの好物(エライオソーム)がついていて、アリによってあちこちに運ばれていきます。
- ☆ 葉は複雑に切れ込み、表面は明るい青緑色ですが、裏面は白っぽく見えます。茎や葉をちぎると悪臭のあるオレンジ色の汁が出ますが、これは有毒でさわるとかぶれるおそれがあります。

草の王様？

クサノオウという名前の由来には、さまざまな説があり、はっきりしたことはわかっていませんが、代表的なものとして次の3つが知られています。ひとつは、ちぎると出てくる黄色い汁から「草の黄」。そして、薬草の王様として「草の王」。もうひとつは、皮膚病に効くことから「瘡(くさ)・丹毒(のこ)の王」です。ただし強い毒性があるため有毒植物扱いで、安易に利用するのは非常に危険です。



花びらは 4 枚で
多数の雄しべがある



果実は棒状で、
まっすぐではなく、
少し曲がることが多い



タネについている
白い部分がアリの好物
(エライオソーム)



茎をちぎると出てくる
オレンジ色の汁は、
さわるとかぶれる



葉は細かく切れ込む



わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

